

S20年	9月	医療法人山本総合病院設立（※）
S26年	5月	特別医療法人和心会平田循環器病院設立（※）
S41年	4月	桑名市民病院設立（※）
H14年	3月	桑名市民病院が「桑名市民病院整備計画基本構想」を策定。
H15年	3月	桑名市民病院が「桑名市民病院新病院整備計画基本構想」を策定。
H17年	11月	総務省地方公営企業経営アドバイザーを招致。 （総務省地方公益行経営アドバイザーが、経営形態・人件費・委託費の見直しなど34項目を指摘。）
H17年	12月	市議会が市民病院調査特別委員会を設置。
H18年	1月	桑名市民病院あり方検討委員会を設置。
H18年	8月	桑名市民病院あり方検討委員会が答申書を市に提出。 基本機能：400床前後の二次医療可能な自己完結型の急性期病院を 経営改善：収支構造改善と職員意識改革を ○経営形態：非公務員型の地方独立行政法人化が望ましい 【実現方策】⇒ 民間病院との再編統合の検討
H19年	1月	公営企業法の一部適用から全部適用へ移行
H20年	4月	医療法人山本総合病院と再編統合に向けた交渉開始
H20年	8月	医療法人山本総合病院との交渉中断
H21年	2月	特別医療法人平田循環器病院から寄附の申出。 再編統合を前提とした協議・交渉開始
H21年	3月	市議会が地域医療対策調査特別委員会を設置。
H21年	7月	桑名市地域医療対策連絡協議会を設置。
H21年	10月	地方独立行政法人桑名市民病院が発足。 ・桑名市民病院 ・桑名市民病院分院（特別医療法人平田循環器病院）
H21年	10月	地方独立行政法人桑名市民病院評価委員会が付帯意見書を市に提出。 ・桑名市民病院の地方独立行政法人化は、桑名市民病院あり方検討委員会の答申書の趣旨を受けて、400床前後で二次医療が可能な自己完結型の急性期病院の実現を最終的な目標とし、中期目標・中期計画の策定は、その実現に向けての過程であると認識する。 ・二次医療が可能な自己完結型の急性期病院を実現は、桑名市民病院と医療法人平田循環器病院との合併だけでは不可能であり、他の医療機関との合併も含めて、実現するための方策を今後も継続的に模索するべき。
H22年	9月	市議会が「桑名市民病院の再編統合と地域医療の充実に関する決議」を採択。 ・桑名市民病院の今後に関しては、桑名医師会と中心的な医師派遣元となる三重大学付属病院医局と協議の場の設置や、三重県・外部有識者からの意見聴取により、中核的な民間病院との再編統合に向け調査・研究し、あらゆる視点から検討・協議され推進すること。 ・桑名市地域医療対策連絡協議会に設置される「地域医療提供体制部会」、「医療と福祉、介護等との連携部会」で出された諸課題の解決に努めること。

H23年	1月	桑名市、桑名市民病院、及び山本総合病院で「地方独立行政法人桑名市民病院と医療法人山本総合病院の再編統合に関する確認書」を締結。
H23年	2月	市が「桑名地域における地域医療体制の再構築」を策定して「地域医療再生基金（平成22年度拡充分）」を県に申請。
H23年	2月	桑名市地域医療対策連絡協議会地域医療提供体制部会が提言書を市に提出。 ・課題を解決するための最も有効な方策は、市内の医療機関のうち病床数、医師数や救急搬送件数において上位を占め、かつ類似の診療科を有し、地域の二次医療において大きな役割を果たしている桑名市民病院と山本総合病院が再編統合することである。
H23年	11月	県が「三重県地域医療再生計画（拡充分）」を策定し、「地域医療再生基金（平成22年度拡充分）」を内示。 ・北勢保健医療圏の桑名地域において、地方独立行政法人桑名市民病院と医療法人山本総合病院の常勤医師数の減少、施設の老朽化が進んでいる。このため、両病院を再編統合し、400床の新病院を建設して、救急医療等の集約化を図るとともに、急性期医療及び高度医療に対応した新しい設備を備え、二次救急医療を完結させることが可能な地域の中核病院を整備することが必要。
H23年	12月	<u>「地方独立行政法人桑名市民病院と医療法人山本総合病院の統合に関する基本合意書」を締結。</u>
H24年	3月	市議会が新病院の整備等に関する特別委員会を設置。
H24年	4月	地方独立行政法人桑名市総合医療センターが発足。 ・桑名西医療センター（桑名市民病院） ・桑名南医療センター（桑名市民病院分院） ・桑名東医療センター（医療法人山本総合病院）
H24年	7月	桑名市議会新病院の整備等に関する特別委員会が提言書を市に提出。市が「桑名市総合医療センター基本構想・基本計画」を策定。
H25年	3月	地方独立行政法人桑名市総合医療センターが新病院の <u>基本設計</u> を完了。⇒H28.開院予定
H25年	7月	地方独立行政法人桑名市総合医療センターが新病院の <u>実施設計</u> を開始。
H25年	10月	<u>竹田 寛 新理事長（前三重大学医学部附属病院長）が就任し、新体制がスタート</u>
H26年	2月	小児・周産期医療の充実に向けた合意書の締結 （三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、三重県、桑名市）
H26年	3月	地方独立行政法人桑名市総合医療センターが新病院の <u>実施設計</u> を完了。
H26年	4月	<u>桑名東医療センターに東海地方初の周産期科を開設。</u>
H27年	8月	新病院整備事業における新棟新築工事の契約締結
H27年	10月	新病院整備工事着工
H30年	1月	<u>新病院新棟完成</u>
H30年	4月	新病院開院
H30年	5月	新病院診療開始

(※) 統合前の名称で記載